



大掛かりな工事不要の排水圧送ポンプで トイレや洗面台などを簡単に設置

SFA Japan株式会社は、住宅や商業施設など、新たに水まわり設備を設ける際に便利な排水圧送ポンプユニットを製造・販売しています。SFAはSociété Française d'Assainissement (フランスの衛生会社)の略で、1958年にフランスで創業。石造の古い建物をリノベーションする文化のあるヨーロッパで成長し、現在では世界60カ国で累計1,000万台以上の販売実績があります。排水圧送ポンプとしての世界シェアは約80%以上と圧倒的で、バッキンガム宮殿など歴史的建造物にも採用されています。日本法人の立ち上げから携わっておられる、ゼネラル・マネージャーの荻野雄仁さんにお話をうかがいました。

建物にダメージを与えず 時間と費用もかけずに設置可能

当社の排水圧送ポンプは、排水を内径の細い管で受けて上に圧送するため、配管の勾配が取れない場所でも水まわり設備を設置することができます。床を上げたりという大掛かりな工事也不要で、建物を傷つけることなく時間も費用も抑えて新しくトイレやキッチン、洗面所などを設けることが可能です。

「サニアクセス3」は、戸建てでもマンションでも住まいにトイレをもう1台設置したい時に最適な機種で、一般的なトイレの後ろに取り付け可能です。トイレの排水がポンプの中に流れ込むとモーターが動き出し、流れ込んだ汚物とトイレットペーパーは回転刃により3~4秒で粉碎され、内径20~25mmの細い吐出管で圧送されます。吐出管は上に5m、横に100m引くことができ、逆止弁が付いているのでポンプ停止後も逆流しません。例えば、押入れをトイレにつくり換える場合、時間も費用もかかるのですが、これであれば1日で工事が終わりますし、費用も数十万円です。もちろん2階にトイレを新しく設置することもできます。

「サニスピードプラス」は雑排水用のポンプで、テナントビルなどの商業空間でシンクを増やしたい時に有効です。こちらはトイレ用と違い粉碎はせず、内径40mmの流入管で受けて、上に6m、横は70m圧送できます。

他にも、手洗器や空調機のドレン



「サニアクセス3」リフォーム例

処理に便利な最小サイズの「サニシャワープラス」や、中にポンプが2台内蔵されていて吐出量が多い「サニキュービック2 クラシック」があり、目的に合わせて選ぶことができます。

最近では、ヨーロッパでベストセラーの、ポンプとトイレが一体になった「サニコンパクトプロ」も取り扱うようになりました。日本メーカーの製品と同等の節水能力で、奥行きは日本製品最小の650mmよりも10cmほど小さい555mmです。狭い場所にトイレを新設したい場合に有効です。

住宅や商業施設など どこにでも簡単に水まわりを増設

日本でもリフォームやリノベーションが一般的になり、新たに水まわり設

備を設けるケースが増えてきました。

住宅では、ご高齢の方が部屋の近くにトイレが欲しくても、費用や大掛かりな工事を理由に諦めることも多いようですが、当社の製品なら好きな場所に水まわり設備を増設できます。また、近年、ビルの一室を保育園にするケースも多く、幼児用のトイレや手洗いを新設する際に使っていただく事例も増えています。

製品はトイレなど水まわりの裏に隠して設置することもできますし、紙おむつなど異物を流してしまった時にタンクからすぐに取り出せるというメリットから、あえて見える位置に設置する方もいらっしゃいます。

水まわり設備を増設する際は、ぜひ当社の製品の導入をご検討ください。

SFASFA Japan 株式会社 (エス・エフ・エー・ジャパン(株)) www.sfa-japan.jp

排水圧送ポンプを製造・販売。大きさやスペックの異なる5機種(2019年7月現在)を展開しています。簡単な配管工事で設置でき、認定修理店も全国にあります。

東京都中央区日本橋箱崎町20-3 箱崎公園ビル7F TEL: 03-5623-3151 FAX: 03-5623-3152

■製品についてのお問い合わせは、上記電話かFAX、またはメール(sales@sfa-japan.jp)でご連絡ください。